

## 「カンゴッチ」に看護必要度B項目のチェック機能を追加！ 評価漏れを防ぎ、施設基準の維持に貢献

医療情報のネットワーク化を推進するメディカル・データ・ビジョン株式会社（東京都千代田区 岩崎博之代表取締役社長）は2018年9月20日（木）から、重症度、医療・看護必要度（以下、看護必要度）の正確な記録と適正評価を支援する看護必要度チェックアプリケーション「カンゴッチ」に新たな機能を追加することをお知らせいたします。

### 【サービス提供の背景・概要】

「カンゴッチ」は、看護必要度のHファイルデータの精度向上や、適正な評価につながるシステムとして2017年3月に提供を開始しました。2018年度の診療報酬改定では、一般病棟入院基本料の再編とともに、看護必要度の評価方法の一部が見直されました。評価方法に、「A 得点1点以上かつB 得点3点以上」かつ「B 14 診療・療養上の指示が通じる」または「B 15 危険行動」のいずれかに該当している患者 - の基準が追加されました。

しかしこれまで、看護師が記録したB項目のデータをチェックする有効な手段がありませんでした。また、「一般病棟用の重症度、医療・看護必要度Ⅱ」を導入した病院では、DPCデータによって看護必要度が算出されるため、看護師が直接記録するのはB項目のみとなり、評価漏れの影響がさらに大きくなってきます。

このような背景から、重要性の高まったB項目を適正に評価するためにこの度、「カンゴッチ」にDPCデータを使って過小評価（入力漏れ）をチェックする機能を追加しました。各種DPCデータからB項目の「B 14 診療・療養上の指示が通じる」と「B 15 危険行動」が誤りである可能性を導き出し、HファイルのB項目が過小評価されていないかを可視化します。

これにより、Hファイルのデータ精度が向上し、適正な看護評価につなげることができ、病院収益の基礎となる入院料の施設基準である看護必要度の維持、向上に貢献します。

### 【提供内容詳細】

- 分析項目 : 看護必要度B項目の過小評価チェック機能
- 提供開始日 : 2018年9月20日（木）
- 提供形態 : クライアントアプリケーション形式
- 利用料金 : 30万円（税別） ※当社の「EVE」「Medical Code」「Hospital eye」をご契約のお客様には無償で提供いたします。

「カンゴッチ」の紹介サイトのQRコード



### 【一覧画面】

※画面はイメージです。予告なく変更する場合があります。

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
Aさん	票			般	般	般	般	般	般		
	A			3	2	1	1	1	1		
	B			3	3	1	1	1	3		
	C			0	0	0	0	0	0		
Bさん	票	般	般	般	般	般	般	般	般		
	A	1	2	1	1	1	1	1	1		
	B	2	6	3	2	2	2	4			
	C	0	0	0	0	0	0	0			

### 【Hファイルの入力チェック】

実施日		2018年08月01日(水)	2018年08月02日(木)	2018年08月03日(金)	
重症度		軽症	重症	重症	
一般 B	9	寝返り	0: できる 0点	1: 何かにつかまればできる 1点	1: 何かにつかまればできる 1点
	10	移乗	0: 介助なし 0点	2: 全介助 2点	1: 一部介助 1点
	11	口腔清潔	0: 介助なし 0点	0: 介助なし 0点	0: 介助なし 0点
	12	食事摂取	0: 介助なし 0点	0: 介助なし 0点	0: 介助なし 0点
	13	衣服の着脱	0: 介助なし 0点	0: 介助なし 0点	0: 介助なし 0点
	14	診療・療養上の指示が通じる	0: はい 0点 認知症高齢者の日常生活...	1: いいえ 1点	1: いいえ 1点
	15	危険行動	1: ある 2点	1: ある 2点	0: ない 0点 危険行動可能性あり(過...
	合計	一般B項目合計	2点	6点	3点

<本件に関するお問い合わせ先>

メディカル・データ・ビジョン株式会社 広報 : 君塚・皆川・赤羽  
 MAIL : pr@mdv.co.jp TEL : 03-5283-6911 (代表)